

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成22年5月20日(2010.5.20)

【公表番号】特表2009-518659(P2009-518659A)
 【公表日】平成21年5月7日(2009.5.7)
 【年通号数】公開・登録公報2009-018
 【出願番号】特願2008-533239(P2008-533239)
 【国際特許分類】

G 1 0 L 19/00 (2006.01)

G 1 0 L 19/02 (2006.01)

【F I】

G 1 0 L 19/00 2 1 3

G 1 0 L 19/02 1 5 0

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月31日(2010.3.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ビットストリームを受信して、複数のチャンネルを有するオーディオ信号を復号化する方法であって、

前記複数のチャンネルのうちの二チャンネル間の量子化されたエネルギー差CLD及び量子化モードに対する情報を前記ビットストリームから抽出するステップと、

前記量子化モードが第1モードである場合には第1量子化テーブルを用いて前記量子化されたCLDを逆量子化し、前記量子化モードが第2モードである場合には第2量子化テーブルを用いて、前記量子化されたCLDを逆量子化するステップと、

を有することを特徴とするマルチチャンネルオーディオ信号の復号化方法。

【請求項2】

前記第1量子化テーブルの量子化分解能は、前記第2量子化テーブルの量子化分解能と異なる、請求項1に記載のマルチチャンネルオーディオ信号の復号化方法。

【請求項3】

前記第1量子化テーブルは、前記第2量子化テーブルより多い量子化ステップ数を有する、請求項2に記載のマルチチャンネルオーディオ信号の復号化方法。

【請求項4】

前記第1量子化テーブルは、前記第2量子化テーブルより少ない量子化ステップ数を有する、請求項2に記載のマルチチャンネルオーディオ信号の復号化方法。

【請求項5】

前記量子化モードは、量子化される信号のエネルギーレベルに基づいて決定される、請求項1に記載のマルチチャンネルオーディオ信号の復号化方法。

【請求項6】

前記第1モードで前記量子化される信号のエネルギーレベルが量子化基準値より高い場合、前記第1量子化テーブルは、前記第2量子化テーブルより多い量子化ステップ数を有する、請求項5に記載のマルチチャンネルオーディオ信号の復号化方法。

【請求項7】

複数のチャンネルを有するオーディオ信号を符号化するマルチチャンネルオーディオ信号の

符号化方法であって、

前記複数のチャンネルのうちの二チャンネル間のエネルギー差CLDを取得するステップと

、
符号化される前記オーディオ信号のエネルギー差に基づいて量子化モードを決定するステップと、

前記量子化モードに基づいて決定した量子化テーブルを用いて、前記CLDを量子化するステップと、

を有することを特徴とするマルチチャンネルオーディオ信号の符号化方法。

【請求項8】

前記量子化テーブルは、第1量子化テーブル及び第2量子化テーブルの少なくとも1つを有し、

前記符号化されるオーディオ信号のエネルギーレベルが量子化基準値より高い場合、前記第1量子化テーブルが前記CLDの量子化に用いられ、それ以外の場合、前記第2量子化テーブルが前記CLDの量子化に用いられ、

前記第1量子化テーブルは、前記第2量子化テーブルより多い量子化ステップ数を有する、請求項7に記載のマルチチャンネルオーディオ信号の符号化方法。

【請求項9】

ビットストリームを受信して、複数のチャンネルを有するオーディオ信号を復号化する装置であって、

前記複数のチャンネルのうちの二チャンネル間の量子化されたエネルギー差CLD及び量子化モードに対する情報を前記ビットストリームから抽出するアンパッキング部と、

前記量子化モードが第1モードである場合には第1量子化テーブルを用いて前記量子化されたCLDを逆量子化し、前記量子化モードが第2モードである場合には第2量子化テーブルを用いて、前記量子化されたCLDを逆量子化する逆量子化部と、

を有することを特徴とするマルチチャンネルオーディオ信号の復号化装置。

【請求項10】

複数のチャンネルを有するオーディオ信号を符号化するマルチチャンネルオーディオ信号の符号化装置であって、

前記複数のチャンネルのうちの二チャンネル間のエネルギー差CLDを取得する空間情報抽出部と、

符号化される前記オーディオ信号のエネルギー差に基づいて量子化モードを決定し、前記量子化モードに基づいて決定した量子化テーブルを用いて、前記CLDを量子化する量子化部と、

を有することを特徴とするマルチチャンネルオーディオ信号の符号化装置。

【請求項11】

請求項1に記載の方法をコンピュータで実行させるためのプログラムを記録したコンピュータで読み出すことができる記録媒体。